

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

2021-22年度 RI会長/シェカール・メータ
RI.D2590ガバナー/小倉 正
横浜旭RC会長/北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamasahirc.cho88.com
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)
例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

横浜市へ医療機器支援

旭ふれあい区民まつり

2022年6月22日 第2467回例会 VOL. 53 No. 29
最終例会

- 司会 副SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	73.68%

■本日の欠席者

中谷、福村、二宮(麻)、宋、佐藤(真)

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。今年度最後の例会となりました。こうして皆様に報告するのも今回で最後と思うと深く安堵すると同時に少し寂しく思います。

石川県能登地方で19日に震度6弱、20日に震度5強を観測した地震が発生いたしました。大きな被害はないと言われてはいますが、能登のシンボルである「軍艦島」の別名を持つ見附島(みつけじま)が崩れたということで、地元の方々にとってはショックだったと思います。専門家によると今回の地震は地下深くから上昇した水などの流体が、地震を引き起こす断層面に入り込み、断層がすべりやすくなっているのが原因と分析しており、かなり特殊な地震のようで日本というのは様々な災害の要因があることを知りました。今後の地震活動についても数カ月か数年以上かは分からないが、まだまだ続

くと予想されています。被災にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げるとともに一刻も早く地震が収まることをお祈りいたします。

今年度名誉会員になりました吉原名誉会員について、ロータリーへの長年の功績と多額のご



寄付をいただいたことについて、本日の最終例会にリモートでの参加をお願いし、感謝状をお贈りする計画でした。残念ながら毎週水曜日にリハビリの予定が入っており、参加は叶いませんでしたが、昨日の午前中に市川幹事と共にご自宅へ伺いさせていただき、感謝状をお渡しし、今後も当クラブを見守っていただくようお願いいたしました。吉原さんから皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださいとのことです。

■幹事報告 市川 慎二

2021-22年度のクラブ活動報告書の提出を、各委員長は7月末までに、五十嵐会員までお願い致します。

■ニコニコBOX

北澤 正浩／本日が最終例会となりました。卓よろしくお願いたします。

市川 慎二／クラブ幹事として何もできませんでしたが、会員皆様のおかげで無事に一年を終える事ができました。ありがとうございます。関口 友宏／コロナ禍でのクラブ運営、多々ご苦勞があった事と思います。北澤会長・市川幹事一年間ご苦勞さまでした。

新川 尚／北澤会長・市川幹事一年間ご苦勞様でした。来年度も宜しくお願いたします。

安藤 公一／北澤会長・市川幹事一年間お疲れ様でした。

内田 敏／北澤会長・市川幹事一年間ご苦勞様でした。又理事の方ご苦勞さまでした。

五十嵐 正／北澤会長・市川幹事一年間大変お世話になり、ありがとうございます。

東谷 充／北澤会長・市川幹事卓話宜しくお願いたします。

平子 智章／北澤会長・市川幹事一年間お疲れ様でした。いろいろとありがとうございました。

増田嘉一郎／北澤会長・市川幹事一年間お疲れ様でした。

岡田 隆／北澤会長・市川幹事一年間お疲れ様でした。

佐藤 利明／北澤会長・市川幹事一年間ご苦勞様でした。

田川 富男／北澤会長・市川幹事一年間ご苦勞様でした。

■今年を振り返って 市川慎二

今年度も新型コロナウイルスに翻弄させられた一年となり、年度当初の計画通りに活動は行えませんでした。北澤会長をはじめ会員皆様の多大なご理解、ご協力のもと、無事にクラブ運営を行うことができました。

7月 新年度開始 中谷会員入会式 下山ガバナー補佐来訪

8月 緊急事態宣言により休会

9月 緊急事態宣言により休会 ガバナー公式訪問からガバナー直接面会へ変更

10月 例会の再開

11月 地区大会 ダバオ市ヘマニラ友好委員会 パソコン寄贈への協力
今野前会員ご逝去

12月 地区補助金対象プロジェクト・横浜FCとのエコペーパー石鹼を幼稚園児へ配布
クリスマス例会

1月 オミクロン株の流行 ZOOMによるWEB例会の導入

2月 ロシアによるウクライナへの軍事作戦開始

3月 東谷会員入会式

4月 ガールスカウトとのクリーン作戦
兵藤会員ご逝去

5月 第5グループ合同例会
二宮登会員ご逝去

6月 移動例会 鎌倉親睦旅行 最終例会

振り返ってみますと、2020年から僅か数か月で世界的パンデミックとなり、世界中の人々、そしてクラブを取り巻く環境も大きく変化しました。

一人ひとりの意識や行動も、昔ながらのことは減り、社会ではオンラインが導入され、もはや日常となっています。少しずつ変わり始めていたことがコロナ禍で一気に加速したように思います。

しかしオンラインの導入は、あくまでもコミュニケーションツールの補完的なものとして利用していかないと、人とのコミュニケーションは、ますます縮小されていくと例会でも感じています。

こういった様々な変化やニーズに、ロータ

リークラブの活動や例会も形を変えながらも、会員それぞれが充実、満足できるものを目指していかなければならないと強く思う一年でした。

今年度も中止となった活動が多くありましたが、再開した活動も増えています。

次年度は、コロナとの付き合い方もより理解され、多くの活動が再開されることを願っています。

北澤会長の幹事として、しっかりと機能することはできませんでしたが、会員皆様の温かいご理解、ご協力のおかげで、無事に一年を終えることができましたことを心より感謝致します。本当にありがとうございました。

■今年度を振り返って 北澤 正浩

いよいよ、今年度の最終例会となりました。私が昨年7月に横浜旭ロータリークラブ第53代会長を拝命し、一年が経とうしております。思い起こせば平成25年1月に入会し9年間、会場設営にだけ全力をつくしてきたような未熟者が歴史ある当クラブの会長を務めることができたのは、理事・役員をはじめとする会員の皆様にご理解とご協力をいただいたおかげです。まずは厚く御礼申し上げます。特に幹事の市川さんには、会長としての心構えから親切丁寧に教えていただき、数々の失敗をフォローしていただきました。重ねて御礼申し上げます。

まずは本年度の活動を振り返りますと、奉仕プロジェクトとして、地区補助金を使いサッカーJ1リーグの横浜FCとのコラボで区内の幼稚園児に紙石鹼を配布する「エコペーパー石鹼配布プロジェクト」を実行していただきました。これは幼稚園児やその親御様から大変喜んでいただき、12月16日に希望が丘幼稚園で行われた贈呈式の模様はYCVで放送され、タウンニュースに掲載される等、地域へ貢献しているロータリークラブの活動を知っていただくよい機会をつくることができました。

国際的な奉仕活動として、2月24日に開始されたロシア軍のウクライナ侵攻に関し、当ク



ラブ独自にウクライナへの人道支援として募金活動を行いました。会員の各事業所に募金箱を設置させていただき、多額の募金をいただきました。ウクライナの情勢は予断を許さず、その状況に皆様も深く心を痛め、憂慮しておられることと思います。一刻も早く現下の事態が終息し、平和な方向に進展することを祈るばかりです。

親睦活動として12月18日にクリスマス・家族親睦会を開催することができました。コロナ感染防止に配慮が必要と考え、クラブ会員と18歳以上のご家族様限定での開催とさせていただき、例年のような華やかなアトラクションはありませんでしたが、久々に会員が集い飲食を共にできたイベントとなりました。

そして先々週の6月8日に開催した、鎌倉・江の島へ親睦旅行は皆様も記憶に新しいと思います。今年度を締めくくる親睦活動として私も大いに楽しませていただきました。

主な活動については以上の通りで、前年度同様、新型コロナウイルスの影響により、制約が多い中、各委員会は感染防止に努めながら実行可能な活動を模索していただきましたが、中止せざるを得ない活動がほとんどで、本来のクラブ活動と比べ、満足がいく成果は得られませんでした。現在コロナ禍につきましては、感染者は高止まりし、未だに終息は見えないながらも、社会的には一定の落ち着きが戻ってきたように思えます。制約がなく活動ができる日までもう少しの辛抱となりそうです。

コロナ禍の影響は例会の運営方法も変化させました。前半期は緊急事態宣言により例会中止の期間が発生し、それ以外の期間でも隔週の開催で続けておりました。しかし極端に減った例会数ではクラブへの参加意義が薄れ、会員の皆様からロータリーへの気持ちが離れていくのがよくわかりました。そんな状況を改善する為に、他クラブで導入が進められているリモートでの例会を当クラブでも進め、後半期から毎週の開催を開始することとしました。導入に関し、一



番懸念していたのは、普段スマホやパソコンの操作をしない方々がこの試みに協力していただけるかが心配でした。いざ導入してみると、皆様は積極的に取り組んでいただき、わからないことがあると会員同士で教えあっていただくなど、当クラブの結束の強さを活かし、思いのほかスムーズに導入することができ安堵いたしました。リモートでの例会で特に気を付けたことは、会場参加者とリモート参加者との距離を縮めることです。なるべくリモート参加者の表情がわかるように、プロジェクターで大きく映し出すようにし、近状などを聞くなどして参加意識をもっていただくよう心掛けました。現在ではハイブリットの例会が定着し、プログラム通りの例会開催ができるようになり、その点では成果がありました。結果的には失敗だったと私は思います。いくらリモートの技術が発展しても、距離を縮める工夫をしたとしても、例会場で顔を合わせることはかなわないということです。例会開始前に仲間同士で話をしたり、食事をしたりというコミュニケーションはロータリーの醍醐味であり、それを楽しみにしている会員は多いと思います。リモートは例会参加を容易にし、出席者を増やすことにはよいのですが、親睦を大切にしているロータリアンにとって、この方法で生じる弊害は私が想像していた以上に大きく、例会場の熱量を上げることはできなかったというのが感想です。コロナ禍での対応として導入したしくみですが、コロナ禍終息後の継続や手法については議論が必要なのかもしれません。

今年度最大の反省点として、会員数減少に歯止めをかけられなかったことが挙げられます。年度開始前後より退会者が相次ぎ、特別会員資格を設ける等の施策を考え実行しましたが思ったような成果を出せず、さらに長年クラブを支えていただいた兵藤さんや二宮登さんをご逝去される等、多くの会員を失うことになりました。中谷さんや東谷さんのフレッシュな方々にご入会いただき、明るいニュースもございましたが、最終的には会員数20人を割ることになってしまいました。コロナ禍の影響はありますが、こ

れはひとえに会長として、会員増強に力を入れられなかったことと、退会者を引き留められる人望の無さを痛感し、甚だ申し訳なく思っております。次年度より関口会員のご子息の入会が決まっており、コロナ禍の影響が落ち着いていけば会員の増加が期待できると思いますが、横浜旭ロータリーを継続し、奉仕活動を続けていく為に、次年度から更なる会員増強活動が必要になります。私も努力してまいりますので、皆様もご協力をお願いいたします。

結びにあたり、今年度はクラブとしての成果が薄く、様々な失敗を繰り返し、ご迷惑をおかけしておいて申し訳ないのですが、私にとっては大変刺激のある一年を送らせていただきました。会長就任時の挨拶で申し上げた通り、人生とは様々な体験ができる素晴らしいものだと実感しました。ロータリークラブの会長職という貴重な機会を与えてくださったことに諸先輩方へ心より感謝し、横浜旭ロータリークラブの益々の発展と皆様のご健勝を祈念致しまして退任の挨拶とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。



北澤会長・市川幹事ご苦労さまでした。



スマイルキング 北澤会長 スマイルクィーン 安藤会員